

2005年3月18日

地域の安全 わが家の安全 防災編 報告書

(2005年1月19日～2月28日調査)

調査の設計	1
結果の概要	5
単純集計	9
質問票	12



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

阪神大震災から10年で起きた新潟県中越地震、そしてスマトラ沖地震・インド洋津波は、あらためて自然のもたらす脅威の大きさを思い知らせた。とくに、県境をはさんだ近隣の新潟では、地震により土砂崩落や河川のせき止めが誘発され、集落の孤立や避難を迫られた。さらに、大雪の追い討ちで、阪神の「都会型」被災とは、様相の異なる「地方型」の厳しさが倍加された。

行政の「公助」、地域の「共助」、そして個人や家族の「自助」の兼ね合いを、どう組み合わせていけばよいのか、県民各層の意識を市部と郡部の対比を主眼にして探る。

調査の設計

調査対象 県内に住む20歳以上の男女1800人

抽出方法

市部、郡部の2本立ての調査として、対象を市部800人、郡部1000人に分けて設定。それぞれの“有権者の縮図”となるように、東北中南の4地域に分け、一定のルールで選定した8市、20町村に対象者を振り分けた。

調査方法 郵送

調査期間 2005年1月19日～2月28日

調査地点 8市8町12村の合計28市町村

回答結果 市部 368人 (男性181人 女性187人) 回収率46.0%
郡部 530人 (男性244人 女性286人) 回収率53.0%

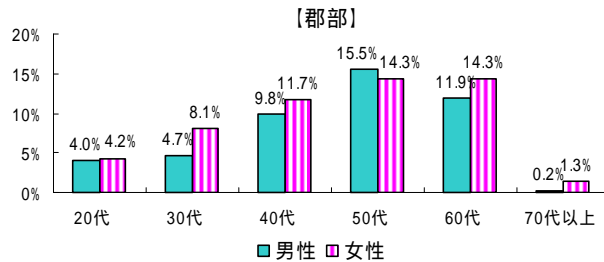
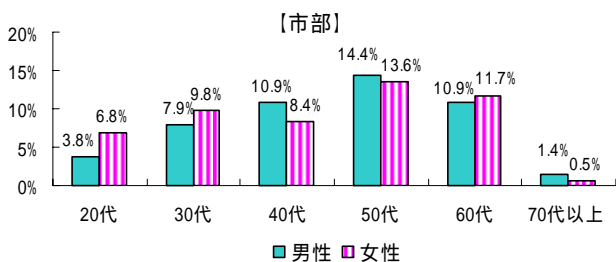
注 数表・グラフの%数字は小数点二位で四捨五入。合計は100にならない場合もある = 以下同じ

回収サンプルの内訳

【性別と年代】

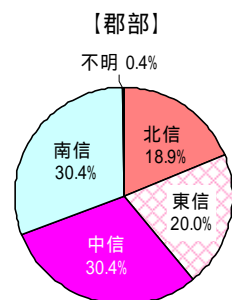
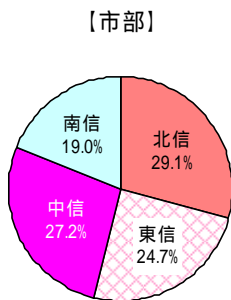
<市部>	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	368	39	65	71	103	83	7
	100.0%	10.6%	17.7%	19.3%	28.0%	22.6%	1.9%
男性	181	14	29	40	53	40	5
	49.2%	3.8%	7.9%	10.9%	14.4%	10.9%	1.4%
女性	187	25	36	31	50	43	2
	50.8%	6.8%	9.8%	8.4%	13.6%	11.7%	0.5%

<郡部>	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	530	43	68	114	158	139	8
	100.0%	8.1%	12.8%	21.5%	29.8%	26.2%	1.5%
男性	244	21	25	52	82	63	1
	46.0%	4.0%	4.7%	9.8%	15.5%	11.9%	0.2%
女性	286	22	43	62	76	76	7
	54.0%	4.2%	8.1%	11.7%	14.3%	14.3%	1.3%



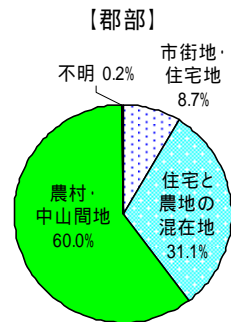
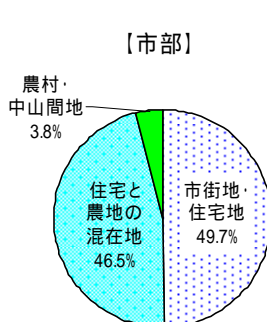
【居住地域】

	市部	郡部
北信	29.1%	18.9%
東信	24.7%	20.0%
中信	27.2%	30.4%
南信	19.0%	30.4%
不明	0.0%	0.4%



【住環境】

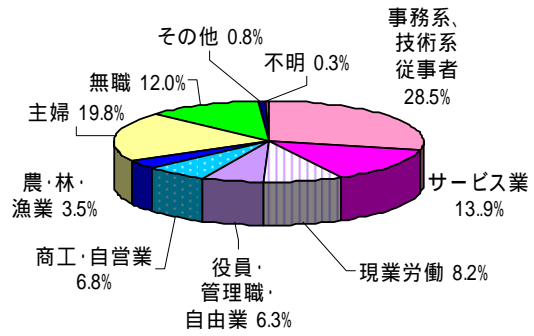
	市部	郡部
市街地・住宅地	49.7%	8.7%
住宅と農地の混在地	46.5%	31.1%
農村・中山間地	3.8%	60.0%
不明	0.0%	0.2%



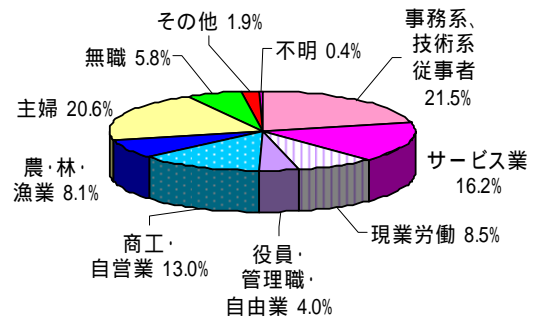
【職業】

	市部	郡部
事務系、技術系従事者	28.5%	21.5%
サービス業	13.9%	16.2%
現業労働	8.2%	8.5%
役員・管理職・自由業	6.3%	4.0%
商工・自営業	6.8%	13.0%
農・林・漁業	3.5%	8.1%
主婦	19.8%	20.6%
無職	12.0%	5.8%
その他	0.8%	1.9%
不明	0.3%	0.4%

【市部】



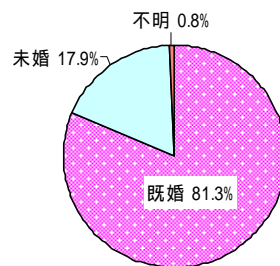
【郡部】



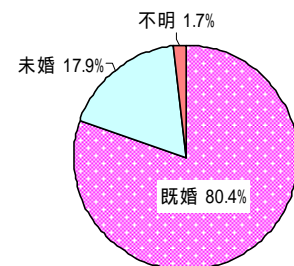
【結婚】

	市部	郡部
既婚	81.3%	80.4%
未婚	17.9%	17.9%
不明	0.8%	1.7%

【市部】



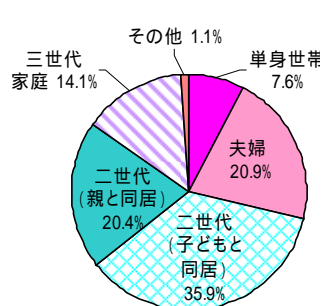
【郡部】



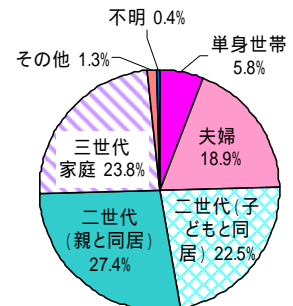
【家族構成】

	市部	郡部
単身世帯	7.6%	5.8%
夫婦	20.9%	18.9%
二世世代(子どもと同居)	35.9%	22.5%
二世世代(親と同居)	20.4%	27.4%
三世世代家庭	14.1%	23.8%
その他	1.1%	1.3%
不明	0.0%	0.4%

【市部】



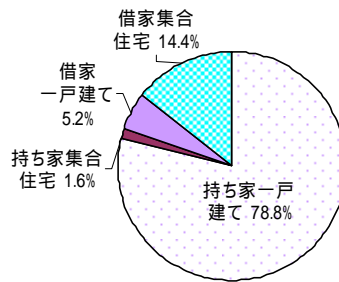
【郡部】



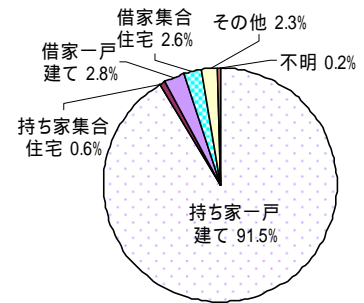
【住宅状況】

	市部	郡部
持ち家一戸建て	78.8%	91.5%
持ち家集合住宅	1.6%	0.6%
借家一戸建て	5.2%	2.8%
借家集合住宅	14.4%	2.6%
その他	0.0%	2.3%
不明	0.0%	0.2%

【市部】



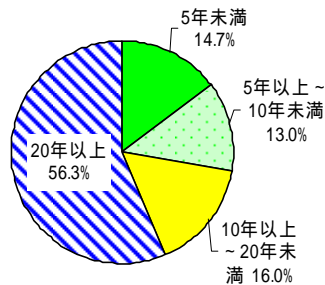
【郡部】



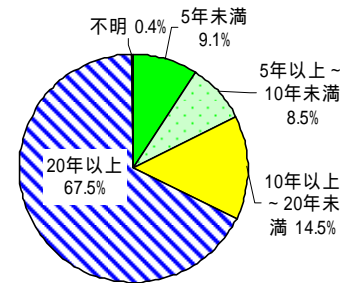
【居住年数】

	市部	郡部
5年未満	14.7%	9.1%
5年以上～10年未満	13.0%	8.5%
10年以上～20年未満	16.0%	14.5%
20年以上	56.3%	67.5%
不明	0.0%	0.4%

【市部】



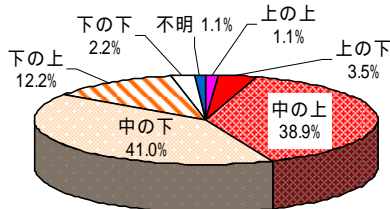
【郡部】



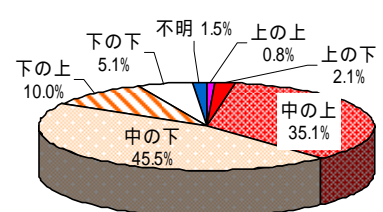
【暮らしぶり】

	市部	郡部
上の上	1.1%	0.8%
上の下	3.5%	2.1%
中の上	38.9%	35.1%
中の下	41.0%	45.5%
下の上	12.2%	10.0%
下の下	2.2%	5.1%
不明	1.1%	1.5%

【市部】



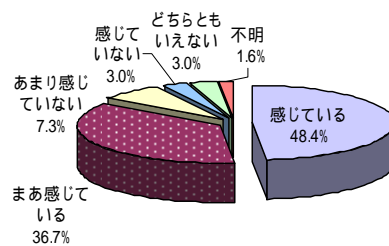
【郡部】



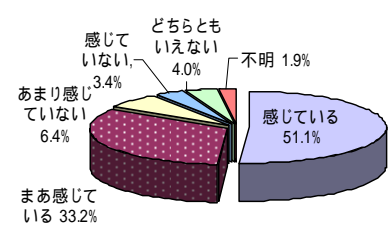
【問11 現在住んでいる所への愛着】

	市部	郡部
感じている	48.4%	51.1%
まあ感じている	36.7%	33.2%
あまり感じていない	7.3%	6.4%
感じていない	3.0%	3.4%
どちらともいえない	3.0%	4.0%
不明	1.6%	1.9%

【市部】



【郡部】



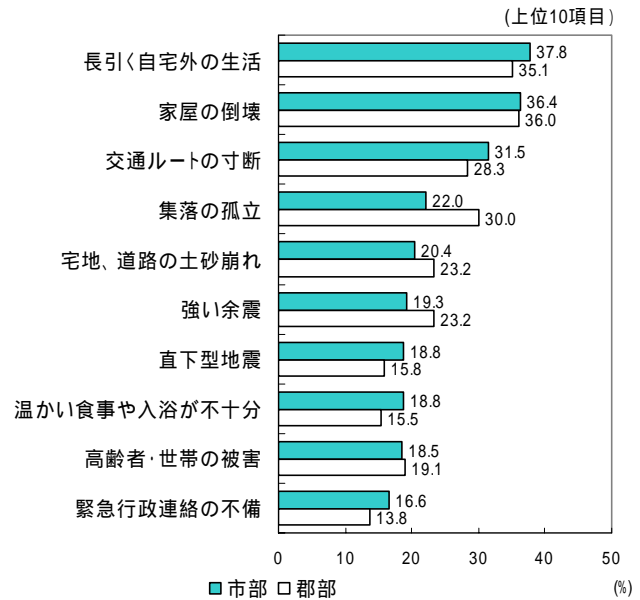
結果の概要～市部と郡部の比較

中越地震の受けとめは？ 「長引く避難生活」「家の倒壊」深刻感強く

中越地震の現地の被害、救援を見聞きする中で、深刻なことと受けとめたのは、市部、郡部ともに「長引く自宅外の生活」と「家屋の倒壊」が上位。

市部で「交通ルートの寸断」が3位に挙げられたが、郡部では「集落の孤立」だった。

総体として、郡部で地震そのものや崩落など直接的な被害に関心が強いのに対して、市部では食事や救援システムなど災害後の暮らしのケアの面が前面に押し出されている。



日ごろ、災害の不安は？

「かなり感じる」郡部で3分の1占める

日ごろ、自然災害の不安を感じるのは、郡市ともに80%に迫る。このうち、郡部では「かなり感じる」が3分の1を占め、市部に比べて数ポイント高い。

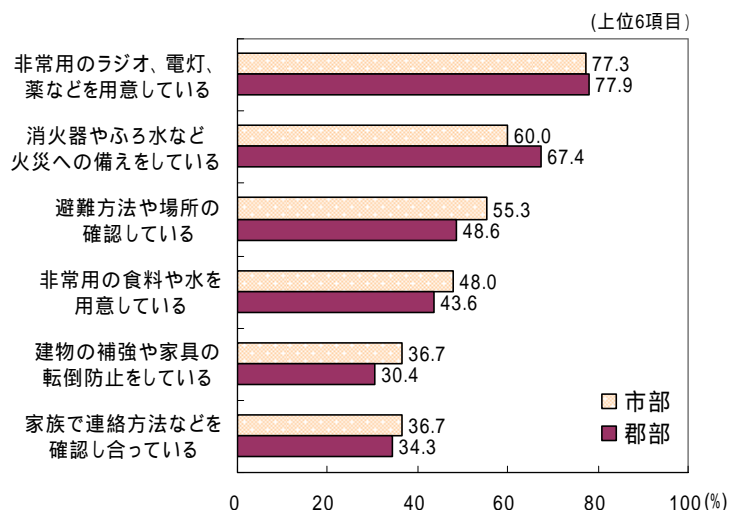
日ごろの備えは？

「非常用のラジオや電灯、薬」が筆頭

日ごろの災害への備えが「ある」は、市部41% 郡部34%の開きが生じたが、トップ内容は「非常用のラジオ、電灯、薬などの用意」。

2位「消火器、ふる水など火災への備え」、3位「避難方法や場所の確認」の上位は、市郡ともに同じ。「建物の耐火耐震対策」は最下位で「避難訓練」や「救助などの研修」も振るわない。

市部で家屋内など個人の対応がめだつのと対照的に、郡部では訓練、保険など、地域・組織的な備えが多めになっている。



市部と郡部の違い

災害への不安	地 域		住 環 境	
	市部	郡部	市部・市街地	郡部・農村部
・かなり感じている	25.3%	32.5%	27.9%	35.5%

災害の備え	地 域		住 環 境	
	市部	郡部	市部・市街地	郡部・農村部
・ある	40.8%	34.2%	41.0%	34.9%
消火器やふる水など	60.0%	67.4%	50.7%	67.6%
避難方法や場所の確認	55.3%	48.6%	60.0%	50.5%
非常用の食料や水を用意	48.0%	43.6%	54.7%	45.0%
建物の補強や家具の転倒防止	36.7%	30.4%	34.7%	30.6%
災害保険に入っている	31.3%	43.6%	30.7%	45.9%
非常用持ち出し貴重品の準備	29.3%	34.3%	29.3%	36.9%
避難訓練に参加	26.7%	35.9%	25.3%	39.6%
救命救助の研修に参加している	20.0%	29.3%	17.3%	36.0%

情報源と頼りにする相手	地 域		住 環 境	
	市部	郡部	市部・市街地	郡部・農村部
< 情報源 >				
ラジオ	66.0%	46.6%	70.5%	47.8%
行政からの防災無線、放送、ファックス	54.6%	67.7%	52.5%	68.9%
テレビ	32.1%	41.5%	31.1%	39.0%
< 相手 >				
家族	79.3%	74.0%	82.0%	72.6%
市町村の機関・窓口	43.2%	48.9%	42.1%	50.3%
警察・消防	39.9%	37.4%	43.7%	39.0%

訓練とボランティア	地 域		住 環 境	
	市部	郡部	市部・市街地	郡部・農村部
< 訓練参加 >				
実際におこなったことがある	23.1%	30.4%	23.5%	33.3%
関心は持っている	60.1%	58.3%	62.3%	54.7%
< ボランティア >				
実際におこなったことがある	3.5%	6.6%	3.8%	7.5%
関心は持っている	79.1%	74.3%	82.0%	71.4%

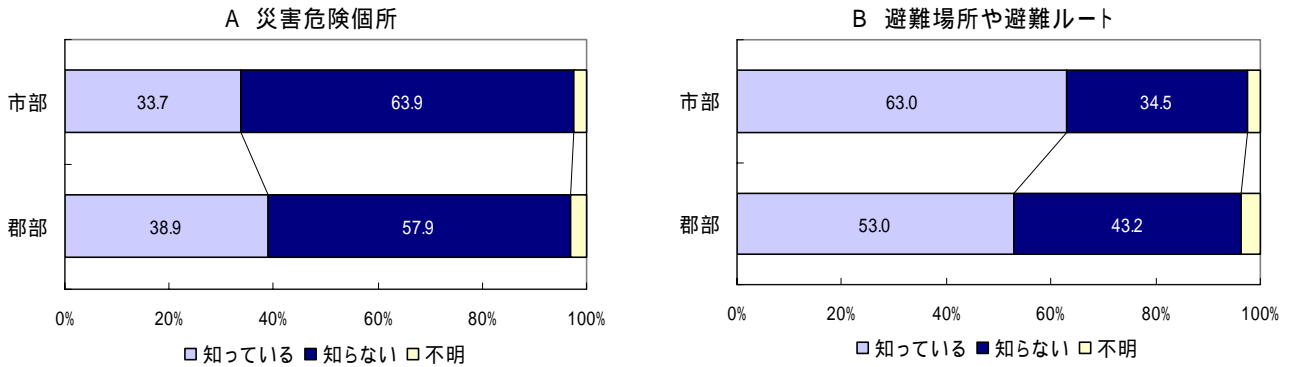
危険個所と避難	地 域		住 環 境	
	市部	郡部	市部・市街地	郡部・農村部
・危険個所を知らない	63.9%	57.9%	61.7%	56.9%
・避難場所やルートを知っている	63.0%	53.0%	66.7%	50.9%

中越地震の深刻なうけとめ	地 域		住 環 境	
	市部	郡部	市部・市街地	郡部・農村部
・集落の孤立	22.0%	30.0%	20.8%	33.6%
・宅地、道路の土砂崩れ	20.4%	23.2%	18.6%	23.0%
・強い余震	19.3%	23.2%	18.6%	23.6%
・直下型地震	18.8%	15.8%	24.6%	17.6%
・温かい食事や入浴が不十分	18.8%	15.5%	19.1%	11.0%
・高齢者・世帯の被害	18.5%	19.1%	21.3%	17.6%
・緊急行政連絡の不備	16.6%	13.8%	19.1%	14.8%
・救援システムが円滑でない	16.6%	13.0%	18.6%	12.9%

危険箇所と避難ルートを知っている？

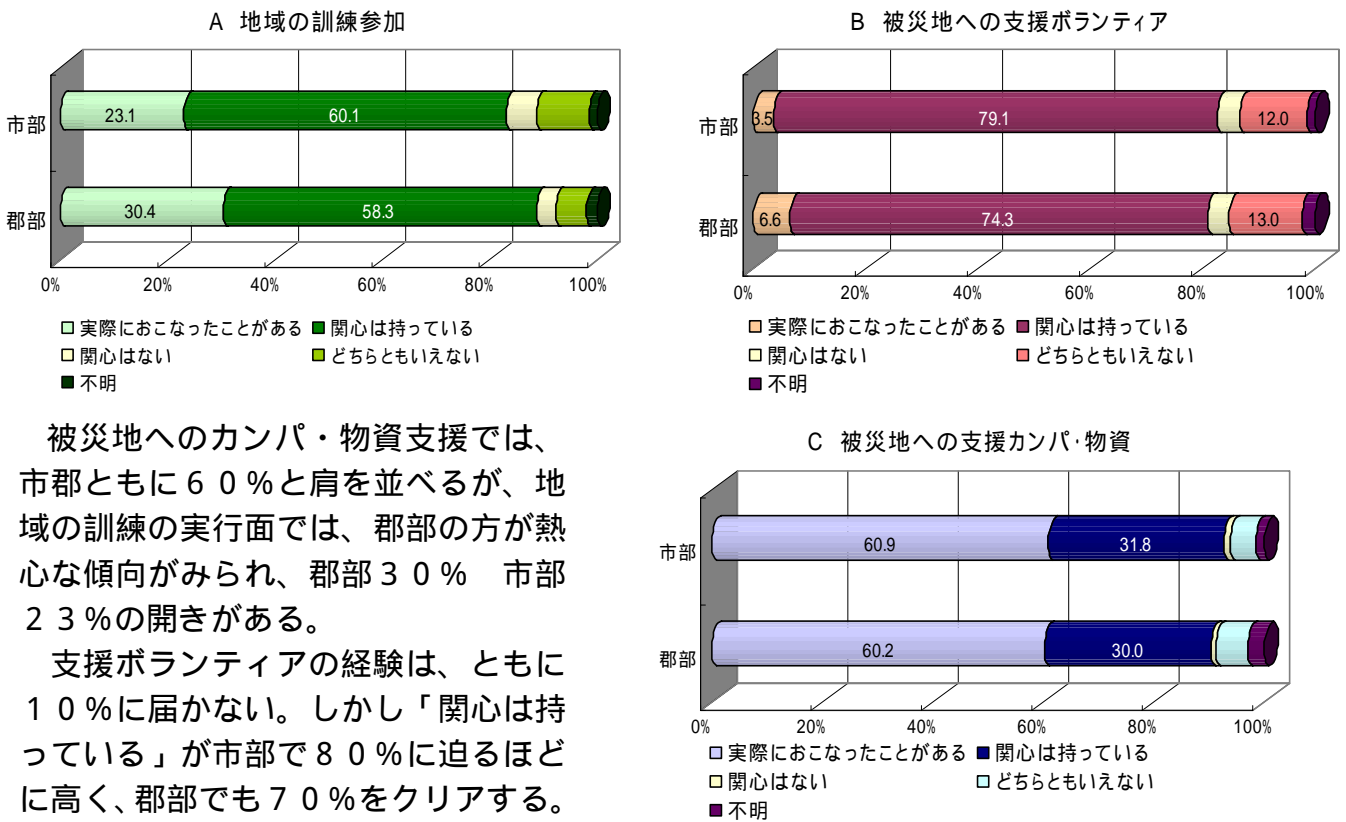
郡部「危険箇所」高め 市部は「避難ルート」浸透

地域の災害危険箇所を「知っている」は郡部が40%に迫るが、市部では5ポイント落ち込む。対照的に、避難場所・ルートでは市部で60%を突破するのに対して、郡部では半数を少し超えるにとどまる。



訓練と支援の体験は？

支援カンパ「経験ある」市郡とも60%台



被災地へのカンパ・物資支援では、市郡ともに60%と肩を並べるが、地域の訓練の実行面では、郡部の方が熱心な傾向がみられ、郡部30% 市部23%の開きがある。

支援ボランティアの経験は、ともに10%に届かない。しかし「関心を持っている」が市部で80%に迫るほどに高く、郡部でも70%をクリアする。

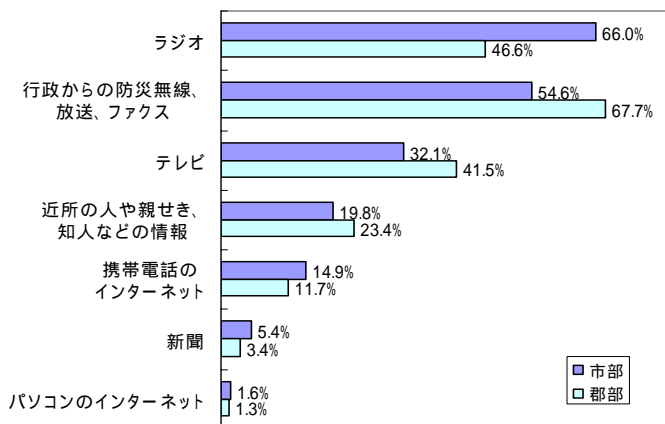
そのとき...情報源と頼りにしたい相手は？

市部で「ラジオ」圧倒的 郡部では「防災無線」

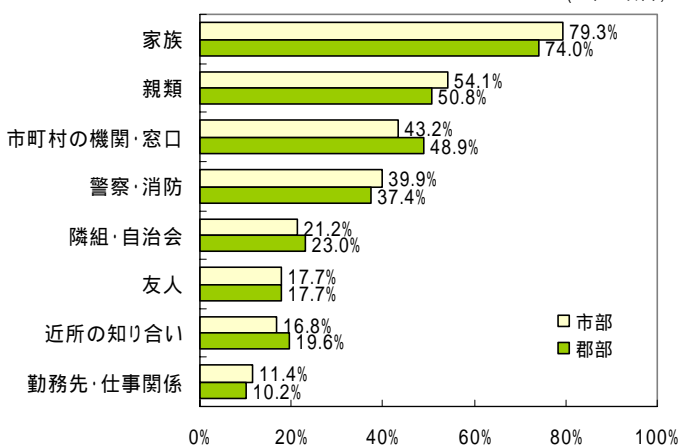
緊急時の情報源のトップは、市部で「ラジオ」、郡部で「行政からの防災無線、放送、ファクス」が抜きん出て、市郡の違いが浮き彫りになった。

3位～4位は「テレビ」「近所、知人などの情報」と共通するが、郡部の度合いが高め。

相談や頼りにしたい相手は、まず「家族」が断然トップ、2位はともに「親類」で、市部の度合いが高めになっている。3位からは「市町村の窓口」「警察・消防」「隣組・自治会」が続く。



(上位8項目)

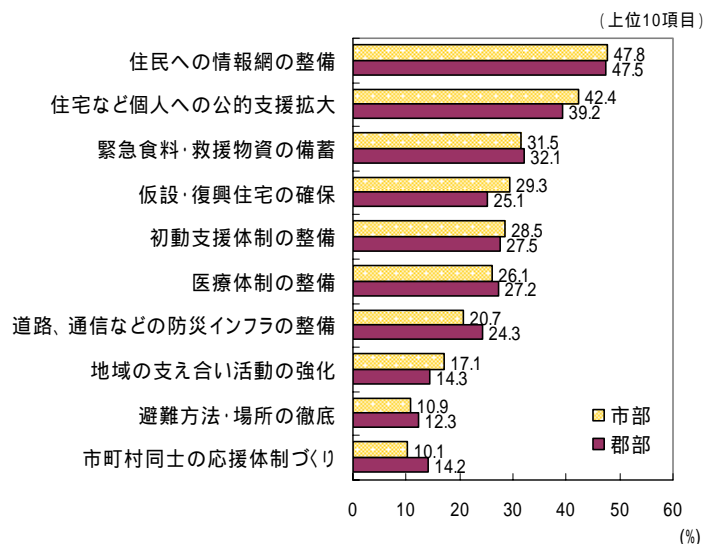


行政の備えで重視するのは？

「住民への情報網」トップ 続く「個人への公的支援」

行政の備えに期待することで、最も重視するのは「住民への情報網の整備」。市郡に違いはない。

続いて「住宅など個人への公的支援拡大」。中越の被災救援でも論議された「公的資金と私的財産」の兼ね合いに、現行の制約改善を望む声が市郡ともに高い。



単純集計

問1 あなたは日ごろ、住んでいる地域で、地震など大きな自然災害の不安を感じていますか

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
かなり感じている	25.3%	27.6%	23.0%	32.5%	27.5%	36.7%
やや感じている	52.7%	51.9%	53.5%	46.0%	46.7%	45.5%
あまり感じていない	19.6%	17.7%	21.4%	19.4%	22.5%	16.8%
全く感じていない	2.4%	2.8%	2.1%	1.3%	2.5%	0.3%
なんともいえない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.4%	0.7%

問2 あなたの家庭では日ごろ、災害に備えていることがありますか

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
ある	40.8%	42.5%	39.0%	34.2%	30.7%	37.1%
ない	44.3%	43.6%	44.9%	44.9%	53.3%	37.8%
どちらともいえない	14.7%	13.8%	15.5%	19.8%	15.2%	23.8%
不明	0.3%	0.0%	0.5%	1.1%	0.8%	1.4%

問3 それはどんなことですか(すべて)

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
非常用のラジオ、電灯、薬などを 用意している	77.3%	76.6%	78.1%	77.9%	80.0%	76.4%
消火器やふる水など火災への 備えをしている	60.0%	62.3%	57.5%	67.4%	73.3%	63.2%
避難方法や場所を確認している	55.3%	53.2%	57.5%	48.6%	45.3%	50.9%
非常用の食料や水を用意している	48.0%	44.2%	52.1%	43.6%	50.7%	38.7%
建物の補強や家具の転倒防止をしている	36.7%	41.6%	31.5%	30.4%	28.0%	32.1%
家族で連絡方法などを確認し合っている	36.7%	29.9%	43.8%	34.3%	33.3%	34.9%
地震など災害用保険に入っている	31.3%	32.5%	30.1%	43.6%	48.0%	40.6%
非常用の持ち出し貴重品を準備している	29.3%	28.6%	30.1%	34.3%	38.7%	31.1%
避難訓練に参加している	26.7%	27.3%	26.0%	35.9%	34.7%	36.8%
非常用の衣類、寝具を用意している	21.3%	22.1%	20.5%	20.4%	17.3%	22.6%
救命救助の研修に参加している	20.0%	20.8%	19.2%	29.3%	26.7%	31.1%
建物に耐火耐震を施している	12.7%	9.1%	16.4%	11.0%	12.0%	10.4%
その他	0.7%	1.3%	0.0%	1.7%	1.3%	1.9%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問4 あなたは、大きな災害に遭った際、情報を得るために頼りになるのは、どんな手段だと思いますか(2つ以内)

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
ラジオ	66.0%	70.7%	61.5%	46.6%	51.2%	42.7%
行政からの防災無線、放送、ファックス	54.6%	51.4%	57.8%	67.7%	66.0%	69.2%
テレビ	32.1%	33.1%	31.0%	41.5%	44.7%	38.8%
近所の人や親せき、知人などの情報	19.8%	15.5%	24.1%	23.4%	18.4%	27.6%
携帯電話のインターネット	14.9%	16.0%	13.9%	11.7%	13.1%	10.5%
新聞	5.4%	6.1%	4.8%	3.4%	1.6%	4.9%
パソコンのインターネット	1.6%	2.2%	1.1%	1.3%	2.0%	0.7%
その他	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%	0.4%	0.7%
特にない・わからない	0.8%	0.6%	1.1%	0.4%	0.0%	0.7%
不明	0.5%	1.1%	0.0%	0.8%	0.4%	1.0%

問5-A 地域の訓練参加

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
実際におこなったことがある	23.1%	27.6%	18.7%	30.4%	37.3%	24.5%
関心は持っている	60.1%	60.2%	59.9%	58.3%	50.8%	64.7%
関心はない	5.7%	6.1%	5.3%	3.6%	3.7%	3.5%
どちらともいえない	9.8%	5.5%	13.9%	5.8%	4.9%	6.6%
不明	1.4%	0.6%	2.1%	1.9%	3.3%	0.7%

問 5-B 被災地への支援ボランティア

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
実際におこなったことがある	3.5%	4.4%	2.7%	6.6%	9.4%	4.2%
関心は持っている	79.1%	80.7%	77.5%	74.3%	70.1%	78.0%
関心はない	4.1%	5.0%	3.2%	3.8%	6.6%	1.4%
どちらともいえない	12.0%	9.4%	14.4%	13.0%	11.1%	14.7%
不明	1.4%	0.6%	2.1%	2.3%	2.9%	1.7%

問 5-C 被災地への支援カンパ・物資

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
実際におこなったことがある	60.9%	63.5%	58.3%	60.2%	60.2%	60.1%
関心は持っている	31.8%	30.9%	32.6%	30.0%	29.1%	30.8%
関心はない	1.1%	2.2%	0.0%	0.9%	0.8%	1.0%
どちらともいえない	4.6%	2.2%	7.0%	5.8%	6.1%	5.6%
不明	1.6%	1.1%	2.1%	3.0%	3.7%	2.4%

問 6-A 災害危険箇所

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
知っている	33.7%	41.4%	26.2%	38.9%	45.9%	32.9%
知らない	63.9%	57.5%	70.1%	57.9%	50.0%	64.7%
不明	2.4%	1.1%	3.7%	3.2%	4.1%	2.4%

問 6-B 避難場所や避難ルート

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
知っている	63.0%	64.6%	61.5%	53.0%	55.3%	51.0%
知らない	34.5%	33.7%	35.3%	43.2%	40.2%	45.8%
不明	2.4%	1.7%	3.2%	3.8%	4.5%	3.1%

問 7 あなた自身や家族がなんらかの災害に遭った時は、だれに優先的に頼ったり相談しますか(3つ以内)

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
家族	79.3%	76.2%	82.4%	74.0%	64.8%	81.8%
親類	54.1%	54.1%	54.0%	50.8%	52.5%	49.3%
市町村の機関・窓口	43.2%	45.9%	40.6%	48.9%	50.4%	47.6%
警察・消防	39.9%	39.2%	40.6%	37.4%	40.2%	35.0%
隣組・自治会	21.2%	27.1%	15.5%	23.0%	23.8%	22.4%
友人	17.7%	15.5%	19.8%	17.7%	17.6%	17.8%
近所の知り合い	16.8%	16.0%	17.6%	19.6%	18.9%	20.3%
勤務先・仕事関係	11.4%	15.5%	7.5%	10.2%	10.2%	10.1%
保険関係	4.6%	5.0%	4.3%	5.5%	6.1%	4.9%
政治家や有力者	0.5%	0.0%	1.1%	0.4%	0.8%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.0%
相談しない	0.3%	0.0%	0.5%	0.2%	0.0%	0.3%
不明	1.4%	0.6%	2.1%	1.9%	2.9%	1.0%

問 8 あなたは、こんどの新潟中越地震の被害や救援について、主にどんなことが深刻だと受け止めましたか(3つ以内)

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
長引く自宅外の生活	37.8%	34.8%	40.6%	35.1%	32.8%	37.1%
家屋の倒壊	36.4%	33.7%	39.0%	36.0%	37.3%	35.0%
交通ルートの寸断	31.5%	35.4%	27.8%	28.3%	29.1%	27.6%
集落の孤立	22.0%	24.9%	19.3%	30.0%	37.3%	23.8%
宅地、道路の土砂崩れ	20.4%	24.3%	16.6%	23.2%	26.2%	20.6%
強い余震	19.3%	14.4%	24.1%	23.2%	18.9%	26.9%
直下型地震	18.8%	18.8%	18.7%	15.8%	16.4%	15.4%
温かい食事や入浴が不十分	18.8%	16.0%	21.4%	15.5%	12.7%	17.8%
高齢者・世帯の被害	18.5%	19.3%	17.6%	19.1%	14.8%	22.7%
緊急行政連絡の不備	16.6%	17.7%	15.5%	13.8%	10.7%	16.4%
救援システムが円滑でない	16.6%	17.7%	15.5%	13.0%	14.8%	11.5%
土砂崩落	8.7%	8.8%	8.6%	8.3%	10.2%	6.6%
地域産業の打撃	7.3%	9.9%	4.8%	5.8%	6.1%	5.6%
車の中の寝泊り	7.1%	6.6%	7.5%	8.9%	7.0%	10.5%
携帯電話の不通	6.5%	7.2%	5.9%	6.2%	6.1%	6.3%
エコノミー症候群の犠牲	4.9%	4.4%	5.3%	3.8%	4.1%	3.5%
新幹線の脱線	0.5%	1.1%	0.0%	0.6%	0.4%	0.7%
その他	0.3%	0.6%	0.0%	1.5%	1.2%	1.7%
特にない・わからない	0.3%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	1.6%	1.1%	2.1%	3.0%	3.7%	2.4%

問 9-A 国や自治体のとりくみ

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
かなり生かされている	9.0%	8.8%	9.1%	10.2%	9.8%	10.5%
まあ生かされている	42.4%	44.2%	40.6%	40.9%	38.9%	42.7%
あまり生かされていない	30.7%	33.7%	27.8%	28.9%	33.2%	25.2%
全く生かされていない	3.5%	3.3%	3.7%	4.2%	4.9%	3.5%
なんともいえない・わからない	12.8%	8.8%	16.6%	13.4%	9.8%	16.4%
不明	1.6%	1.1%	2.1%	2.5%	3.3%	1.7%

問 9-B 住民や地域のとりくみ

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
かなり生かされている	7.9%	7.2%	8.6%	8.5%	5.7%	10.8%
まあ生かされている	34.8%	33.7%	35.8%	36.6%	36.5%	36.7%
あまり生かされていない	34.2%	42.0%	26.7%	32.5%	34.8%	30.4%
全く生かされていない	4.9%	3.3%	6.4%	5.8%	8.2%	3.8%
なんともいえない・わからない	16.0%	11.6%	20.3%	14.3%	11.1%	17.1%
不明	2.2%	2.2%	2.1%	2.3%	3.7%	1.0%

問 10 あなたは、自然災害に対する国や自治体の備えは、どんなことが重視されるべきだと思いますか(3つ以内)

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
住民への情報網の整備	47.8%	48.1%	47.6%	47.5%	45.5%	49.3%
住宅など個人への公的支援拡大	42.4%	41.4%	43.3%	39.2%	38.9%	39.5%
緊急食料・救援物資の備蓄	31.5%	28.7%	34.2%	32.1%	28.7%	35.0%
仮設・復興住宅の確保	29.3%	23.2%	35.3%	25.1%	24.6%	25.5%
初動支援体制の整備	28.5%	30.4%	26.7%	27.5%	31.1%	24.5%
医療体制の整備	26.1%	26.5%	25.7%	27.2%	20.1%	33.2%
道路、通信などの防災インフラの整備	20.7%	25.4%	16.0%	24.3%	29.1%	20.3%
地域の支え合い活動の強化	17.1%	21.0%	13.4%	14.3%	15.6%	13.3%
避難方法・場所の徹底	10.9%	9.4%	12.3%	12.3%	10.2%	14.0%
市町村同士の応援体制づくり	10.1%	11.6%	8.6%	14.2%	14.3%	14.0%
自主防災組織の拡充	7.6%	11.0%	4.3%	7.5%	10.2%	5.2%
耐震・耐火の診断	6.8%	8.8%	4.8%	5.5%	7.4%	3.8%
ボランティア育成	5.4%	3.9%	7.0%	5.1%	6.1%	4.2%
住民の避難・帰宅訓練	3.5%	2.2%	4.8%	2.6%	2.5%	2.8%
原子力防災の備え	3.3%	4.4%	2.1%	3.4%	4.1%	2.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.4%	0.7%
特にない・わからない	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.7%
不明	1.9%	1.1%	2.7%	2.3%	2.9%	1.7%

問 11 あなたは、いま住んでいる市町村に愛着を感じていますか

	< 市 部 >			< 郡 部 >		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
感じている	48.4%	53.0%	43.9%	51.1%	56.1%	46.9%
まあ感じている	36.7%	33.7%	39.6%	33.2%	27.9%	37.8%
あまり感じていない	7.3%	7.7%	7.0%	6.4%	6.6%	6.3%
感じていない	3.0%	3.9%	2.1%	3.4%	2.9%	3.8%
どちらともいえない	3.0%	0.6%	5.3%	4.0%	3.7%	4.2%
不明	1.6%	1.1%	2.1%	1.9%	2.9%	1.0%

調査票

ご記入のお願い

すべての質問に必ず封筒の宛名に書かれたご本人様をご記入ください。
 ご回答は右端の枠の中へ、該当の数字をご記入ください。
 「その他」に該当する場合は()の中に具体的内容をご記入ください。

問1 あなたは日ごろ、住んでいる地域で、地震など大きな自然災害の不安を感じていますか。

かなり感じている	全く感じていない	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
やや感じている	なんともいえない・わからない	
あまり感じていない		

問2 あなたの家庭では日ごろ、災害に備えていることがありますか。

ある	問20、21へ	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
ない	問21へ	
どちらともいえない	問21へ	

問3 (問2で「ある」とお答えの方に)

それはどんなことですか。あてはまることをすべてお答えください。

非常用の食料や水を用意している	
非常用の衣類、寝具を用意している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
非常用のラジオ、電灯、薬などを用意している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
非常用持ち出しの貴重品を準備している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
消火器やふる水など火災への備えをしている	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
避難方法や場所を確認している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
建物の補強や家具の転倒防止をしている	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
建物に耐火耐震を施している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
避難訓練に参加している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
救命救助の研修に参加している	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
家族で連絡方法などを確認し合っている	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
地震など災害用保険に入っている	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
その他(具体的に)	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>

問4 あなたは、大きな災害に遭った際、情報を得るために頼りになるのは、どんな手段だと思いますか。2つ以内に絞ってお答えください。

近所の人や親せき、知人などの情報	
行政からの防災無線、放送、ファクス	
携帯電話のインターネット	
パソコンのインターネット	
新聞	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
ラジオ	
テレビ	<input style="width: 100%; height: 100%;" type="text"/>
その他()	
特にない・わからない	

問5 あなたは、災害の備えや支援を行うことに、どの程度関心がありますか。

- | | | |
|---|----------------------------|--------------------------|
| <p>A 地域の訓練参加
実際におこなったことがある
関心は持っている</p> | <p>関心はない
どちらともいえない</p> | <input type="checkbox"/> |
| <p>B 被災地への支援ボランティア
実際におこなったことがある
関心は持っている</p> | <p>関心はない
どちらともいえない</p> | <input type="checkbox"/> |
| <p>C 被災地への支援カンパ・物資
実際におこなったことがある
関心は持っている</p> | <p>関心はない
どちらともいえない</p> | <input type="checkbox"/> |

問6 あなたは、地域の危険箇所や避難の仕方について、どの程度知っていますか。

- | | | |
|-------------------------------|-------------|--------------------------|
| <p>A 災害危険箇所
知っている</p> | <p>知らない</p> | <input type="checkbox"/> |
| <p>B 避難場所や避難ルート
知っている</p> | <p>知らない</p> | <input type="checkbox"/> |

問7 あなた自身や家族がなんらかの災害に遭った時には、だれに優先的に頼ったり相談をしますか。3つ以内に絞ってお答えください。

- | | | | |
|------------------------------------|--|---|--|
| <p>家族
親類
友人
隣組・自治会</p> | <p>近所の知り合い
市町村の機関・窓口
警察・消防
政治家や有力者</p> | <p>勤務先・仕事関係
保険関係
その他()
相談しない</p> | <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
|------------------------------------|--|---|--|

問8 あなたは、こんどの新潟県中越地震の被害や救援について、主にどんなことが深刻だと受けとめましたか。3つ以内に絞ってお答えください。

- | | | |
|---|---|--|
| <p>直下型地震
強い余震
集落の孤立
宅地、道路の土砂崩れ
緊急行政連絡の不備
温かい食事や入浴が不十分
車の中の寝泊り
携帯電話の不通
交通ルートの寸断
新幹線の脱線</p> | <p>土砂崩落
高齢者・世帯の被害
エコノミー症候群の犠牲
家屋の倒壊
地域産業の打撃
救援システムが円滑でない
長引く自宅外の生活
その他
()
特にない・わからない</p> | <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> |
|---|---|--|

問9 あなたは、10年前の阪神大震災の教訓がいまの地震対策に活かされていると思いますか。

A 国や自治体のとりくみ

かなり活かされている
まあ活かされている
あまり活かされていない

全く活かされていない
なんともいえない・わからない

B 住民や地域のとりくみ

かなり活かされている
まあ活かされている
あまり活かされていない

全く活かされていない
なんともいえない・わからない

問10 あなたは、自然災害に対する国や自治体の備えは、どんなことが重視されるべきだと思いますか。3つ以内に絞ってお答えください。

住民への情報網の整備
ボランティア育成
住宅など個人への公的支援拡大
初動支援体制の整備
緊急食料・救援物資の備蓄
道路、通信など防災インフラの整備
住民の避難・帰宅訓練
避難方法・場所の徹底
耐震・耐火診断
原子力防災の備え

地域の支え合い活動の強化
市町村同士の応援体制づくり
自主防災組織の拡充
医療体制の整備
仮設・復興住宅の確保
その他
()
特にない・わからない

問11 あなたは、いま住んでいる市町村に愛着を感じていますか。

感じている
まあ感じている
あまり感じていない

感じていない
どちらともいえない

ご協力ありがとうございました。
次のページでお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、以下の項目もご記入くださるようお願い申し上げます。

F 1	あなたの性別	男性	女性	<input type="checkbox"/>
F 2	あなたの年代	20代 30代 40代	50代 60代 70才以上	<input type="checkbox"/>
F 3	あなたの居住地	北信(市・町・村) 東信(市・町・村) 中信(市・町・村) 南信(市・町・村) ()内に市町村名をご記入ください		<input type="checkbox"/>
F 4	あなたの住環境	市街地・住宅地 住宅と農地の混在地	農村・中山間地	<input type="checkbox"/>
F 5	あなたの職業	事務系、技術系従事者 サービス業 現業労働 役員・管理職・自由業 商工・自営業	農・林・漁業 主婦 無職 その他 (具体的に)	<input type="checkbox"/>
F 6	結婚	既婚	未婚	<input type="checkbox"/>
F 7	あなたの世帯の家族構成	単身世帯 夫婦 二世帯(子どもと同居) 二世帯(親と同居) 三世帯家庭 その他()		<input type="checkbox"/>
F 8	あなたの住宅状況	持ち家一戸建て 持ち家集合住宅 借家一戸建て	借家集合住宅 その他 ()	<input type="checkbox"/>
F 9	居住年数(現住地の市町村)	5年未満 5年以上～10年未満 10年以上～20年未満 20年以上		<input type="checkbox"/>
F10	世間一般の暮らしぶりを6つに区分すると、あなたのお宅はどの辺りにあてはまるとおもいますか。	上の上 上の下 中の上	中の下 下の上 下の下	<input type="checkbox"/>